

「重度知的障害者の肥満改善に向けた母親への介入プログラムの社会実装」

—本調査に関するご説明とご協力へのお願い—

拝 啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

福祉施設の職員の皆様におかれましては、地域福祉活動に期待が高まる中、日々お忙しくご活躍のことと存じます。

私は日本福祉大学看護学部看護学科の教員で野中光代と申します。これまでに障害者の方と関わる機会が多くありましたが、地域で暮らす重度の知的障害の方の中には、体重コントロールでお困りの方も多いと感じています。本研究のテーマである「知的障害者の肥満」については、福祉医療関係者の中で以前より問題と考えられてきましたが、特に重度の方のご家族への支援は十分とは言えない現状にあると思います。

私は、愛知県立大学大学院修士課程で、自閉症を伴う在宅重度知的障害者に対する母親の肥満容認プロセスを明らかにし、その結果と行動分析という枠組みをもとに、同大学院博士課程で、子どもさんに無理強いしないで食事を改善するお母様向けの「ノーバトル・パターン崩し減量プログラム」を開発し、減量効果を確認しました。次にこのプログラムを、愛知県内の障害者施設の看護師様や管理栄養士様に実施していただき、減量検証を確認しました。

今回は、このプログラムを全国の施設の看護師様等に、成人された重度知的障害者母子に実施していただき、効果の検証と、社会実装上の問題点を明らかにし、改善したいと考えております。この研究は、施設の健康管理に従事されている方々が、重度の知的障害者のお母様が子どもさんと争わずに体重管理ができるよう指導ができること、お母様の介護負担が軽減すること、重い知的障害の方が、外出の機会を増やし、健康で充実した生活が送れることを目指しています。重度知的障害者の健康を支えるお手伝いが少しでもできればと思っています。

以下に研究の概要と倫理的手続きについてお示しいたします。研究の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2025 年 5 月 吉日

日本福祉大学看護学部看護学科 野中光代 森礼子
愛知県立大学看護学部看護学科 柳澤理子

1. 研究目的

本研究の目的は、母親が子どもと争わないことをキーポイントに開発した重度知的障害者の食事中心の肥満改善プログラムを、全国の知的障害者通所施設の看護師様等が実施した際の、減量効果を検証し、社会実装上の課題を明らかにし、それに対応した改善をすることです。

2. 研究の方法・手順

1) 研究参加者

(1)知的障害者通所施設の体重測定等健康管理をされている看護師様・保健師様・管理栄養士様等（以下、看護師等）40～45施設 40～45人程度

(2)以下を全て満たす知的障害の方と 75 歳以下のお母様 60 組程度

①18 歳以上 ②療育手帳 A ③ BMI 25 以上

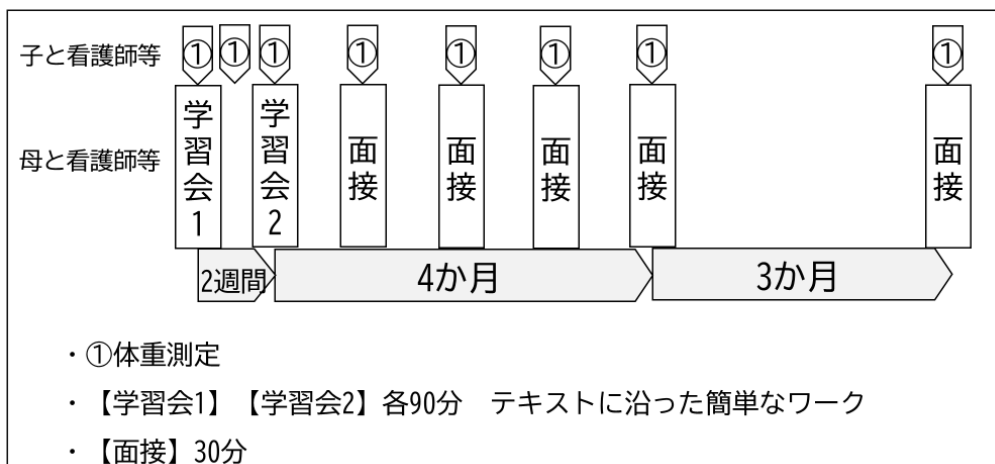
④家でご家族と暮らしている（週 2 日までのショートステイを含む）

⑤過去 6 か月以内に、糖尿病、肥満などで医療機関を受診し、医師、管理栄養士、看護師など専門家から 1 回 20 分以上の食事指導を受けていない

2) 研究の方法・手順

(1)スケジュール

- ・看護師様等から、研究参加にご興味のあるお母様と利用者様に、お母様用研究依頼文書、利用者様用依頼文書に沿ってご説明をお願いします。研究に参加いただける場合は、お母様に同意書を、子どもさんは可能であれば本人から同意書を、可能でなければお母様から代諾書をいただいて、メールでお送りください。お母様などからご質問などがあればご説明しますので、遠慮なくご連絡ください。
- ・同意書を確認した後、貴施設様宛に、体重計と簡単なテキストを送らせていただきます。看護師様等には、子どもさんの体重測定と、学習会 1、学習会 2 を、テキストに沿ってお母様に実施していただきます。You Tube のテキスト説明動画がありますので、学習会前に見ていただきます。説明動画は学習会に使用することもできます。
- ・その後、お家でお母様が減量を始めますので、月に 1 回、看護師様等に面接でお家での様子を確認していただきます。また、学習会や面接後にお母様に確認や励ましのお電話をかけていただきます。
- ・お母様にはお家で子どもさんの体重、食事の一部等の簡単な記録をしていただきます。子どもさんは、体重測定後、作業に戻っていただき、学習会や面接には参加しません。



- ・施設で複数の親子の方に参加していただける場合は、一緒に実施していただいてもかまいません。
- ・体重計を統一するため、大変お手数ですが、こちらから郵送する体重計での測定をお願いします。なお、体重計は返却不要です。

(2)データ収集方法

- ・看護師様等に、学習会と面接時に体重等の記録とチェックリスト、学習会の時は学習会の記録を、メールまたは返信用封筒で送っていただきます。
- ・プログラム終了時に、看護師様等のプログラムの感想を研究者が電話でお聞かせいただき、お母様の感想を自由記載とし QR コードから入力または返信用封筒で送っていただきます。

3. 倫理的手続き

本研究は日本福祉大学「人を対象とする研究」に関する倫理審査委員会、日本福祉大学学長の承認を得ています。

1) 個人情報の保護と研究終了後の対応

- ・学習会や面接でお母様が話された内容は口外しないようお願いします。
- ・得られたデータは研究のみに使用します。またご本人の許可なく、第三者に提供することはありません。
- ・収集するデータには個人名は記載せず、番号で管理します。データはコード番号表と別々に施錠可能な場所に厳重に管理し、研究終了の報告後 5 年、又は結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日まで保管した後、消去および裁断処理します。

2) 研究への参加を自らの意思で行うことおよび撤回の自由

- ・研究へのご協力は全くの自由意志であり、また、ご協力を拒否された場合や途中で中断された場合も不利益を被ることはありません。同意を撤回する場合は、終了後 1 週間以内にお願ひいたします。

3) 研究結果の公表

- ・得られた結果につきましては、学会等での公表を予定していますが、個人や施設が特定される情報が公表されることは一切ありません。

4) 研究に参加することによって生じる対象者個人の利益・不利益と社会貢献

- ・本研究に参加し、最終面接まで終了した看護師様等に母子 1 組につき 5,000 円の振込みと、お母様、利用者様それぞれに 1,000 円分の Amazon ギフトカードをお母様がプログラムの感想を入力いただいたメール宛て、又は QUO カードを施設宛てに郵送させていただきます。

4. 施設長様にお願いしたいこと

- 1) ご協力いただける場合は、承諾書にご署名いただき、「研究者連絡先」にメールにてお送り下さい。
- 2) メール受信確認が取れましたら、担当より「参加者募集チラシ」と「看護師様宛依頼文書一式」をメールで送らせていただきます。
- 3) 対象となる方がおられましたら、対象となる方のお母様に「参加者募集チラシ」と「参加者の感想」をお渡しください。また、看護師様等に「看護師様等宛依頼文書一式」をお渡し下さい。その際、お母様や看護師等の承諾に強制力がはたらく事のないようご配慮をお願いします。

いたします。

- 3) 看護師様等へこちらからお電話で研究内容についてご説明をさせていただきますので、看護師様等が電話で研究の説明を聞ける日時をメールにてお知らせ下さい。
- 4) 看護師様等がお母様に学習会と面接をするために貴施設のお部屋をお貸し下さい。

<研究者連絡先>

日本福祉大学看護学部看護学科 野中光代

〒477-0031 愛知県東海市大田町下浜田 1071

メールアドレス 1minonaka@gmail.com

電話：090-6285-2245

<研究倫理に関する相談・問い合わせ先>

日本福祉大学「人を対象とする研究」に関する倫理審査委員会

メールアドレス rinri-soudan@ml.n-fukushi.ac.jp

年 月 日

日本福祉大学看護学部看護学科
野中 光代 殿

施設名
施設長名（自署）
TEL

研究協力について（回答）

下記研究題目の研究協力について承諾します。

記

研究題目：

「重度知的障害者の肥満改善に向けた母親への介入プログラムの社会実装」